

医薬品開発 最前線で支える

対談 CRO社員×薬学生

突然ですが、皆さんは“CRO”と聞いてどのようなことを思い浮かべますか。聞いたことはあるけど、どのようなことをしているかはよく知らない、そんな人も少なくないのではないのでしょうか。今回はCROの臨床開発モニターとして活躍している、イーピーエスの田野邊竜平さん、インテリムの村上麻衣さん、シミックの遠藤優さんにお話をうかがいました。(日本薬学生連盟2019年度広報統括理事＝明治薬科大学2年・小倉由未佳 東邦大学6年・吉田栄子)

イーピーエス

田野邊 竜平さん

インテリム

村上 麻衣さん

シミック

遠藤 優さん



左から田野邊さん、遠藤さん、村上さん

モニタリングやデータ解析担う 幅広いキャリアの選択肢

—CROではどのような業務を行っているのでしょうか。

村上 医薬品等の開発を製薬企業から受託しています。大きな業務としてはモニタリングですが、データの解析などもしています。

田野邊 従来、製薬企業だけで完結していた業務の中で、治験～製造販売後調査に至るまで、開発に関する業務を外部に委託するという形で生まれたのがCROです。そのため、モニタリングだけではなく、開発にかかわる周辺業務も担っています。

遠藤 モニタリングでは、製薬企業

が作った治験実施計画(プロトコル)通りに治験ができていないかを確認します。まだ承認されていない薬が投与されるので、患者さんに不利益が出ないように、安全に患者さんに投薬できることをモニタリングしています。患者さんを一番に考えながら仕事をしています。

—今後、CROでやり遂げたいことや将来のキャリアプランなどを教えてください。

村上 私はモニターとして仕事をしていますが、もう少し経験を積んでから、モニターの取りまとめ役を経験し

てみたいと思います。また、専門的なモニターを育てる仕事にも携わってみたいと思います。後輩に、自分が経験したことを伝えていけたらと思います。

田野邊 私は3年目のモニターなのですが、まだ経験を積んでいて、様々なことに興味をもっている状態ですね。リーダーにも興味がありますし、課長のような管理職になって、一つのチームにとどまらず、様々な方のマネジメントをして、皆さんが働きやすいような環境を整えるというのやってみたいと思います。

—CROでは、モニターとして入社した後も、様々な選択肢があるということですか。

村上 そうですね。モニター業務だけでなく、データ管理の部門や安全性情報の管理の部門もあるので、モニタ

ーからデータ管理に異動して、新たなキャリアを積むという道もあります。

遠藤 会社によると思うのですが、ほかの業種よりも仕事の選択肢は多いと聞きますね。キャリアプランに関しては、現段階ではリーダー職というよりも、モニター職をずっとやりたいと思っています。病院に行き、先生から病気や治療のお話を聞くのが今は楽しいと思っています。ライフプランと並行して、キャリアプランも変わるかもしれませんが。

—女性が働きやすい環境に向けた取り組みが進んでいます。CROは働きやすそうだと思うのですが、実際はどうでしょうか。

遠藤 先輩社員を見ても働きやすいんだと思いますね。2、3年目でも女性だからとか男性だからとかと

やさしい臨床医学テキスト 第4版

【編集代表】星 恵子(聖マリアンナ医科大学客員教授)



“難しいことをやさしく解説”をコンセプトに、様々な疾患の「病気の成り立ち(概念)」から「患者の訴え(症状)」「病状・所見」「臨床監査」「治療」までの一貫した知識を、医療の第一線で活躍する医師を中心にわかりやすくまとめたテキスト。

★Point

患者に安全・適切な薬物療法を提供するために重要とされる「臨床推論」に必要な疾患の基礎知識が身につく

治療法の解説では「薬物療法」に加え、「食事療法」や「非薬物療法」などについても記載

各領域の主要な疾患に加え、実際の医療現場で大事な周辺疾患についても多数収録

詳細はコチラ



B5判 / 556頁 / 定価 4,600円 + 税

◆薬剤師、薬学生、MRなど疾患の基礎知識を身につけたい方におすすめの一冊です。◆薬学部・薬科大学で教科書として多数採用されています。

薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ(<http://yakuji-shop.jp/>)または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。